

令和7年度 事業報告書

目次

1. 全体概要	1
(1) 令和7年度の社会状況	1
(2) 法人の概要	1
(3) 皆様からのご支援	2
1. 法人全体の事業	3
(1) 経営面について	3
(2) 人事面について	3
(3) 報酬外の取り組みについて	4
(4) 情報公開について	4
(5) 業務の改善について	4
(6) 専門委員会の活動	5
(7) 福祉団体を通じた地域公益活動について(一部再掲)	5
3. 障害者支援施設リバティ神戸 事業報告	7
(1) 事業所の概要	7
(2) ご利用状況について	7
(3) サービスの内容	8
4. 身体障害者デイサービスセンターリバティ神戸 事業報告	11
(1) 事業所の概要	11
(2) ご利用状況について	11
(3) サービスの内容	11
5. はみんぐ 事業報告	14
(1) 事業所の概要	14
(2) ご利用状況について	14
(3) サービスの内容	14



1. 全体概要

(1) 令和7年度の社会状況

令和7年(2025年)度は、社会構造に変化が現れた1年でした。

人口減少時代で人手不足の中、生成AIやAIエージェントなどデジタル技術の進展が注目され、業務における活用も広がりました。総務省『令和7年版情報通信白書』によれば、日本企業で何らかの業務に生成AIを利用している割合は55.2%、生成AIの活用方針を「積極的に活用する」又は「領域を限定して活用する」とする企業は49.7%に達しました。

また、人件費増による値上げ以外に供給不足による物価高も起こっています。昨年度から流通不安によるコメの価格高騰が続き、2025年5月に随意契約により30万トンの備蓄米売渡しを実施するなど価格安定と供給確保が社会的課題となりました。石油に関しても2026年2月28日にアメリカ・イスラエルがイランの首都テヘランなどを空爆。イランは報復として中東の米軍基地への攻撃のほか、ホルムズ海峡を封鎖しました。このことで日本の石油調達に支障が生じ、ナフサ不足などが懸念される事態となりました。

雇用・家計を巡る制度見直しも進んだ。2025年12月26日閣議決定の令和8年度税制改正大綱では、所得税の基礎控除を58万円から62万円へ、給与所得控除の最低保障額を65万円から69万円へ引き上げ、課税最低限を178万円まで特例的に引き上げる方針が示され、「年収の壁」見直しが人材確保や働き方に影響しています。

関西圏では4月13日から10月13日まで日本国際博覧会(大阪・関西万博)が開催され、総来場者数は約2,902万人となりました。交流人口の増加や観光・消費の活性化が進む一方、交通・人流の集中にも対応が求められました。

障害福祉分野では補正予算による臨時の処遇改善が行われたほか、高次脳機能障害者支援法が12月16日に成立、同月24日に公布されました。

(2) 法人の概要

ハローワークや求人広告・就職フェアへの参加など従来の求人方法では採用が困難なため、看護師に続いて介護職員についても人材紹介を利用し採用を行いました。そのため採用コストが大幅に増加しています。また、給食や消耗品など全般的に値上げが行われています。

地域貢献では子ども食堂への支援やセルフネグレクト障害者の支援などを行いました。

会計面は通所部門のご利用者が増加しましたが、退所・入院等により入所部門のご利用者が減少したほか、職員採用費用、同性介護のための改修工事、送迎車の自損事故による修理費用

などが増加したため、サービス活動増減差額は-11,157,780 円(前年比:-13,078,843 円)となりました。

(3) 皆様からのご支援

以下のご支援を頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。

誠にありがとうございました。

● 法人が頂いた補助金・助成金など

① 神戸市

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1. 施設整備資金等補助金 | 93,884 円 |
| 2. 障害福祉人材確保・職場環境改善等事業補助金 | 3,382,539 円 |
| 3. 重症心身障害者加算金 | 500,000 円 |

① 利用者ご家族 110,000 円

● ボランティアの皆様

施設行事として紙芝居ボランティア、盆踊りボランティアのほか、入所者の個人ボランティアとして傾聴、パソコン指導などにお越し頂きました。

1. 法人全体の事業

(1) 経営面について

- ① 引き続き、外部の公認会計士による会計指導を受けました。
- ② 中長期計画の実施に取り組みました。
- ③ バランスの取れた役員構成とするため、理事 6 名のうち女性 2 名 (33.3%)、社外理事 4 名 (66.7%)としています。
- ④ 現金管理のリスクを無くすため法人クレジットカードを導入し、キャッシュレス化をしました。また、ご利用者のお小遣いなどの現金管理も廃止し、必要に応じて法人立替・後日清算する方式にしました。

(2) 人事面について

- ① 有給休暇はパートを含め使用が定着しています。正職員は 18.8 日、79.8% (前年比+9.5%)、平均残業時間は 1.9 時間/月 (前年比+0.3 時間)となりました。
- ② 男性の育児休業が 1 名ありました。
- ③ 最低賃金の上昇に伴いベースアップを行ったほか、パートは業務内容などに合わせて給与体系を増やしました。
- ④ 全ての正職員の誕生日を基準に、年 1 回の理事長面談を行い、1 年間の振り返りや法人の方向性の共有、職場の課題の相談、今後の目標設定などを行いました。
- ⑤ 公正な人事を行うための人事委員会を開催し、人事異動・賞与査定・懲戒処分について協議しました。
- ⑥ 職員同士のコミュニケーションを図るための「職員余暇活動等助成制度」 (@1,000 円×月 2 回まで)を継続しました。延べ 114 人の利用がありました。
- ⑦ 法人負担・希望者のみ参加の形式で、6 月に職員交流会 (BBQ)、年末の忘年会を開催し、職員交流の場を設けました。
- ⑧ 早朝・夜間帯の通勤バスが無い場合、一部のケースで職場と最寄り駅までのタクシー通勤を許可しました。
- ⑨ 職員とのエンゲージメントを高めるため、理事長ニュースの毎日更新を行いました。(毎日更新は 2 月まで、3 月以降は月数回)
- ⑩ 職員がチームとしての役割を意識出来るように、人事評価に部門評価を導入しました。

(3) 報酬外の取り組みについて

- ① 入所者へインターネット環境の無料提供をしました。
- ② ご家族がないなど、自分で買い物が出来ない利用者に対し、無償で買い物代行をしました。
- ③ 身寄りがなく高次脳機能障害を持つ地域の高齢障害者1名に対し、アパート契約の連帯保証人、銀行手続き、病院受診の送迎・付き添いなどの支援を無料で行いました。
- ④ はみんぐが中心となり、夏休み・冬休みなどの長期休みの期間に子ども食堂「かたつむりカフェ」へおにぎり・おやつなどの提供(神戸西区社協「ごはんさん」)を行いました。また、ご利用者と一緒に事業所周辺の「クリーン作戦」を実施しました。
- ⑤ 第64回神戸市障害者スポーツ大会に元入所者を含む4名が出場しました。
- ⑥ 3月に、リバティ神戸で地域連携推進会議を開催しました。

(4) 情報公開について

- ① 法人のウェブサイトデザインを新しくし、決算書類などを積極的に公開しました。
- ② 事故・怪我・病気などについては、利用者のご家族・行政へ随時報告しました。
- ③ 法人の専門委員会活動で、ご利用者がオブザーバー参加・傍聴できるようにしました。(個人情報などに関わる一部時間を除きます)

(5) 業務の改善について

- ① Microsoft365の全社配備を進め、社内ツールとしてteamsを導入してチャットによる連絡・共有とオンライン会議・ミーティング、インカムを活用しました。
- ② 公認会計士による指導を受け、会計業務の改善を継続致しました。
- ③ 本来の身体障害だけではなく、知的障害などの重複障害者のご利用が増加していることに対応するため、強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践研修)を全ての常勤生活支援員が取得するように受講を推進しました。(再掲)
- ④ リバティ神戸で見守りセンサー「眠りSCAN」を導入し、さらに福祉見聞録とデータ連携をしました。
- ⑤ 同性介助の環境整備として、3月にリバティ神戸の男女フロア分けを行いました。

- ⑥ デイサービス直通番号を導入し、ノーリフトケアの導入を進めました。
- ⑦ リバティ神戸のIF ラウンジスペースに入所者の日中活動スペース「虹」を作り、作業療法士が中心となって創作活動などを行いました。

(6) 専門委員会の活動

虐待防止委員会

障害者に対する虐待を防止と人権啓発に取り組み、2ヶ月に1回の身体拘束適正化評価や年2回の研修を実施しました。

災害対策委員会

災害・感染症等に対する減災と業務継続に取り組み、BCPマニュアルの見直しや防災備蓄の更新、図上訓練を行いました。

事故防止委員会

介護や日常生活での事故防止に取り組み、事故防止マニュアル作成やAED研修などを行いました。

QOL委員会

障害者の生活の質の向上に取り組み、職員の接遇状況調査などを行いました。

品質管理委員会

業務状況の適正調査と改善提案に取り組み、各部署のマニュアルの使用状況の確認や更新の助言などを行いました。

栄養ケア委員会

栄養ケアマネジメントと食生活の向上に取り組み、口腔ケアの意識向上、嚥下状態の評価などを行いました。

広報・PR委員

社会に対し法人の考えや活動を伝えることに取り組み、webサイトの更新、求職者に向けた会社説明の改善などを行いました。

(7) 福祉団体を通じた地域公益活動について(一部再掲)

① 神戸市内

神戸市西区自立支援協議会(KOBE WEST NET)、ほっとかへんネット Kobe・西、
神戸市身体障害者施設連盟

② 兵庫県内

兵庫県身体障害者支援施設協議会、兵庫県社会福祉施設経営者協議会、兵庫県
社会福祉議会

③ 広域・全国

近畿地区身体障害者施設協議会、全国身体障害者施設協議会、全国重症心身障害日中活動支援協議会、孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

その他各事業所の詳細については、以降各章の通りです。

当法人と施設運営に対しご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

3. 障害者支援施設リバティ神戸 事業報告

(1) 事業所の概要

所在地	神戸市西区伊川谷町潤和2-2 リバティ神戸2~3階
施設種別及びサービス種類／定員	障害者支援施設 <ul style="list-style-type: none"> ● 施設入所支援 52名 ● 生活介護 57名 ● 短期入所 (5名・併設型) ● 自立生活援助
居室	1人部屋 5室 2人部屋 26室 (計57床)
主な対象者	18歳以上の身体障害者で施設に居住される方。 自立生活援助は、西区・垂水区・明石市で一人暮らしの障害者
営業日	年中無休。
営業時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設入所支援 午後5時から翌午前9時まで ● 生活介護 午前9時から午後5時まで ● 短期入所 午前9時から翌午前9時まで ● 自立生活援助 午前9時から午後5時まで

(2) ご利用状況について

施設入所支援・生活介護のご利用者

年度初めの入所者52名から1年間で入所5名・退所7名があり、最終的に年度末では48名でした。医療的ケアが必要になり療養型へ移られた方や亡くなられた方が退所となっています。

令和7年度も新型コロナウイルスやインフルエンザ感染、主病が重症化したことにより長期の入院があり、利用者数が減少となりました。その結果、施設入所支援の利用者が述べ1万7089名(前年比-875名)となりました。

年度末における入所ご利用者の年齢構成は、26歳から81歳であり、60歳以上の方が21名(前年比-2名)で全体に占める割合が44%、平均年齢は56.2歳(前年比-0.2歳)で、昨年度より若干平均年齢が下がっています。

男女の比率は男性が23名、女性が25名です。施設報酬区分の基礎となる平均障害支援区分は施設入所支援及び生活介護が5.8(前年比-0.1)となっております。

短期入所のご利用者

利用人数は延べ663名(前年比-145名)、営業日数365日でした。平均障害支援区分は5.7(前年比±0)です。

新型コロナウイルスにより昨年 8 月と今年 1 月に短期入所を縮小することとなったため、全体的な稼働率は減少しています。

自立生活援助のご利用者

令和2年11月からサービスを開始しました。当初予定していた一人暮らしの障害者（リバティ神戸から退所）の方については、高齢で介護保険の優先利用のために支給決定を受けることが出来ず、補足的に定期的な病院受診等の無償支援を行っています。また新規利用者の募集については、職員の余力が少ないため、やむを得ず中断している状況です。

(3) サービスの内容

下記の通りサービスを実施いたしました。

日常のスケジュール

7:00	起床・洗面・着替え	理学療法	随時(月～金曜)
8:00	朝食・歯磨き・服薬	作業療法	随時(月～土)
9:00	体操・清掃	言語聴覚士	毎週2回
10:00	水分補給	医師回診	毎週1回(木曜)
10:30 ～11: 30	入浴(月火木金 機械浴)※	シーツ交換	毎週1回(週末毎)
		コップ漂白	毎週1回(日曜)
12:00	昼食・歯磨き・服薬	体重測定	月1回
		買い物代行	毎週1回(木曜)
13:00 ～ 15:40 頃	入浴(月・火・木・金 一般浴、機械浴)※ 喫茶コーナー	パン訪問販売	毎週1回(金曜)
		理容訪問サービス	月2回
14:00	水分補給	洗濯	毎日
		お菓子作り	2ヶ月に1回程度
18:00	夕食・歯磨き・服薬	外出支援	誕生日月に買い物外出
18:30			毎週1回(火曜)
夕食後	非入浴者清拭・着替え	訪問口腔ケア活動	
19:00	水分補給		
20:00	眠前薬服用		
22:00	消灯・就寝		

※夏季については、週3回入浴です。

年中行事／クラブ活動

4月	お菓子作り(30日)	月例行事 (毎月1回) ・誕生日会・茶話会 ・散髪(月2回) ・各委員会活動 ・入所者自治会(ハイビス会) ・日中活動(週2~3回) カラオケ 映画鑑賞 レクリエーション 工作活動 音楽レク 生け花 脳トレ など
5月	四季祭り(6日) 健康診断(30日) お菓子作り(28日) 遠足(10日、17日、24日)	
6月	創立記念日(1日) お菓子作り(25日)	
7月	七夕会(5日) 四季祭り(9日) お菓子作り(30日)	
8月	夏祭り(9日) お菓子作り(27日)	
9月	防災イベント、防災食(24日) お菓子作り(10日)	
10月	お菓子作り(29日) ヤクルトイベント(15日)	
11月	四季祭り(6日) お菓子作り(26日) 健康診断(18日)	
12月	クリスマス会(20日) 年越し(31日)	
1月	元旦(1日) 新年会(7日)	
2月	四季祭り(6日) V.Dお菓子作り(11日)	
3月	ひな祭り(1日) 避難訓練(30日) お菓子作り(25日)	

コロナが5類となってからは大勢での遠足などの外出支援ではなく、誕生日月に個別の買い物外出や昼食をテイクアウトして提供し好評でした。遠足も再開しましたが、人員不足により大勢ではなく少人数での実施を行っています。

ご家族を呼んで夏祭りなどの行事を行う予定でしたが、直前に新型コロナのクラスターが発生したことにより中止となったことと、クリスマス会も軽食の提供と催し事へと縮小し実施しました。

健康管理

- ① 利用者の健康管理に関しては毎週木曜日の嘱託医師診察と、火曜日の歯科医の口腔ケア、年2回の健康診断を実施すると共に、必要な場合は適時受診を行い体調の維持に努めております。
- ② リハビリでは、平日(月～土曜日)に理学療法士と作業療法士による機能訓練を実施に加え、週2回の言語聴覚士による訓練を実施しました。

食事の提供

管理栄養士によって随時メニューを変更し、大量調理マニュアルに添いながら、出来るだけ利用者の嗜好に合った食事の提供を心がけました。

嚥下機能が低下しトロミを使用する方が多くなってきたことからトロミサーバーを導入し、均一にトロミをつけて安全に飲用していただけるよう取り組んでいます。

嚥下状態が悪い方への支援を行っていることから医師の指示のもと、新たに経口維持加算や口腔衛生管理加算等の取得にも努めています。

4. 身体障害者デイサービスセンターリバティ神戸 事業報告

(1) 事業所の概要

所在地	神戸市西区伊川谷町潤和2-2 リバティ神戸 1階
施設種別及びサービス種類/定員	指定障害福祉サービス事業所 生活介護 20名
主な対象者	神戸市西区・明石市の一部の自宅から通う18歳以上の身体障害者
営業日	月曜～金曜日まで。その他、年末年始・盆・臨時に休業
営業時間	午前8時30分から午後5時30分まで (サービス提供時間は午前9時から午後3時10分まで)
送迎車両	ワンボックス 4台(車いす仕様)

(2) ご利用状況について

ご利用者

1年間の生活介護利用者数は営業日数252日に対し延べ3,719名(前年比+357名)、1日平均14.8名(前年比+1.5名)でした。

生活介護の年度末における利用登録者数は35名、年齢構成は18歳から59歳でした。平均年齢は38.0歳、男女の比率は男性が27名、女性が8名となっております。

平均障害支援区分は5.8(前年比-0.1)でした。年度途中の新規利用者は7名、退所は2名(死亡1名、就労継続支援B型優先1名)ありました。

(3) サービスの内容

1. 日中活動および創作活動の推進

午前中は、個別支援計画に基づく創作活動・訓練・入浴等を実施し、午後は想像力や感情表現の向上を目的としたグループワークを行いました。また、廃材を活用した作品制作や各種作品展への出品を通じ、利用者のアート活動の充実を図りました。

2. 地域交流および社会参加の促進

西区自立支援協議会主催の防災運動会に初めて参加し、利用者とともに地域の事業所との交流を深めました。併せて、少人数グループでの外出支援を実施し、地域とのつながりを広げる取り組みを行いました。

3. ノーリフトケアの推進と職員研修

個別アセスメントに基づき、「人力で抱えないケア」の実践および職員の腰痛予防を目的として、リフト機器や福祉用具の積極的な活用を進めました。リフトインストラクター中級資格合格の生活支援員を中心に、理学療法士やウェルネット研究所と連携し、研修

及び技術向上に取り組みました。

4. 柔軟なサービス提供体制

利用者・家族の希望に応じ、延長利用に柔軟に対応するとともに、送迎調整を行いながら必要な支援を提供しました。

日常のスケジュール

8:30	送迎開始	機能訓練 週4回(火~金曜) 体重測定 2ヶ月に1回 パン訪問販売 毎週1回(金曜) 理容訪問サービス 2ヶ月に1回 更生・健康相談 随時 御家族との面談 半年毎
9:00 (到着後)	健康チェック・入浴 レクリエーション 支援計画に沿った個別活動 社会適応訓練・創作活動	
11:30	昼食・服薬・歯磨き	
12:30	リラックスタイム レクリエーション・社会適応訓練・ 入浴・創作活動 支援計画に沿った個別活動	
15:10	送迎開始	
17:30	業務終了	

年中行事

4月	家族感謝デー創作活動	月例行事 ・誕生日会(毎月1回) ・デイサービス便りの配布(2ヶ月月に1回) ・QOL委員会お菓子作り(毎月1回程度) ・散髪(2ヶ月に1回)
5月	家族感謝デー創作活動 四季の食祭り(6日)	
6月	ランチ外出(9日)	
7月	ランチ外出(1日) 七夕 四季の食祭り(9日) バンドライブボランティア演奏会(21日)	
8月	夏祭り(7日・8日) 腹話術ボランティア(27日)	
9月	防災イベント・消防避難訓練(24日) ランチ外出(19日)	
10月	栄養ケアイベント(15日) ハロウィン	
11月	四季の食祭り(6日) ランチ外出(11日・20日)	

12月	クリスマス会(22~26日)	
1月	新年会	
2月	四季の食祭り(3日) バレンタインお菓子作り(11日・13日)	
3月	ひな祭り(3日) 防災運動会(5日) 外出(26日) 消防避難訓練(30日)	

5.はみんぐ 事業報告

(1) 事業所の概要

所在地	神戸市西区和井取 1-12
施設種別及びサービス・定員	指定障害福祉サービス事業所 生活介護 20名
主な対象者	神戸市西区・明石市の一部の自宅から通う18歳以上の身体障害者
営業日	月曜日から金曜日まで。その他、年末年始・盆・臨時に休業。
営業時間	午前9時から午後3時まで
指定年月日	指定障害福祉サービス事業所 平成25年5月1日
送迎車両	ワンボックス4台

(2) ご利用状況について

1年間の生活介護利用者数は営業日数251日に対し述べ3,817名(前年比+263名)、1日平均15.1名(前年比+0.9名)でした。生活介護の年度末における利用登録者の年齢構成は、18歳から57歳の若い方が中心で平均年齢は28.3歳、男女の比率は男性が19名、女性が16名となっております。

平均障害支援区分は5.9(前年比±0)となっており、医療的ケア(吸引、吸入、胃ろう、導尿など)の重度者割合が高くなっています。

(3) サービスの内容

- ・午前は創作活動や個別支援計画に基づいた活動、午後は毎日集団レクリエーションを実施しました。
- ・昨年度から再開している外出支援(ランチ外出や遠足)や演奏ボランティアなどの受け入れについても継続して実施しています。
- ・重症心身障害者や医療的ケアが必要な方の利用が多いことから看護師を増員し、自宅訪問や入院先での退院時カンファレンスへ参加し人工呼吸器が必要な方など積極的な受け入れを行っています。
- ・利用者やご家族の意向として短期入所の利用希望も多かった為、リバティ神戸への利用調整や相談、利用時の送迎なども実施しています。
- ・ご家族の希望から利用時間や送迎時間の延長など柔軟な対応を行ってきました。

日常のスケジュール

8:30	送迎開始	機能訓練	週1~4回
9:00 (到着後)	健康チェック・入浴 レクリエーション 社会適応訓練・創作活動	体重測定 更生・健康相談 御家族との面談	2ヶ月に1回 随時 半年毎
12:00	昼食・服薬・口腔ケア		
13:40	レクリエーション・社会適応訓練・創作活動・支援計画に沿った個別活動		
15:00 16:30	送迎開始		
17:30	業務終了		

年間行事

4月	お花見散歩	<p>月例行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会 ・ギター演奏ボランティア(毎月) ・はみんぐ通信配布(3か月に1回) ・子ども食堂へのおにぎり提供 ・クリーン作戦
5月	BBQ	
6月	BBQ	
7月	夏祭り(24日 25日)	
8月		
9月	防災イベント、避難訓練(24日)	
10月	遠足(14日、17日、20日、22日、29日、30日) ヤクルトイベント(15日)	
11月	演奏会(13日)	
12月	忘年会(9日・10日)	
1月		
2月	クリーン作戦	
3月	避難訓練(27日)	

令和 7 年から小学校が長期の休みになることで学校給食がなく困っているということから、夏休み、冬休み、春休み期間中こどもの居場所作り(かたつむりカフェ)へおにぎりの定期提供に加え、職員から寄付してもらったお菓子や文房具などの提供を継続して行ってきました。

その他、気候の良い時期には事業所周辺のごみ拾いをご利用者と実施しています。